

質問に対する回答について
工事名) 常磐自動車道 相馬工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	信田橋(下部工)設計図 50/58 信田橋 A1 橋台土留工構造図(1)の親杭 H400×400×13×21 は、特記仕様書 27-5-1 構造物掘削 (2) 材料 の特殊部 A 5 に記載されている「H-300×300×10×15 リース品 福島県 12箇月 撤去」は信田橋 (下部工) 設計図 51/58 に記載の支保工材になります。 撤去」でしょうか。	特記仕様書 27-5-1 構造物掘削 (2) 材料 の特殊部 A 5 に記載の「H-300×300×10×15 リース品 福島県 12箇月 撤去」は信田橋 (下部工) 設計図 51/58 に記載の支保工材になります。
2	附帯工設計図 39/59 工事用道路 1 撤去 一般図の数量表に「土工 切土 土砂」 9,149.5m ³ が記載されていますが、数量 明細表(1/10) ①南相馬 IC～相馬 CI 間 4 付帯工の捨土掘削 土砂 A1 数量は 3,110m ³ しか計上されていません。「土工 切土 土砂」 9,149.5m ³ は数量表のどの項目に計上されているかご教示ください。	工事用道路 1 撤去一般図に記載の数量については捨土掘削 土砂 A1 のみの数量を記載しているわけではありません。 特記仕様書 27-3-4 及び 27-3-6 に記載のとおりです。
3	かやぐらばし (下部工) 設計図 70/75 かやぐらばし A2 橋台土留め工構造図 (2)の鋼矢板数量表 添接板 PL100×19×220 は、90 枚ではなく、21 枚で積算されているかご教示ください。	「添接板 PL100×19×220」は 90 枚です。 本数 × 単位質量 (3.28) = 質量 (0.295) となります。
4	特記仕様書 27-5-1 構造物掘削 の構造物掘削 特殊部 A 10 かやぐらばし A 2 橋台前面の鋼矢板の打込み・引抜きについて、高速道路供用車線から離れているので、「低騒音対策 不要」で積算するとの理解でよいかご教示ください。	特記仕様書 17-5 に記載のとおりです。

5	<p>特記仕様書 27-5-1 構造物掘削の構造物掘削 特殊部B1 ボックスカルバート南相馬47の⑩敷鉄板の設置・撤去について、どこに設置する敷鉄板か、敷鉄板の枚数をご教示ください。</p>	<p>参考図74/90をご確認ください。</p>
6	<p>特記仕様書 27-5-1 構造物掘削の構造物掘削 特殊部B3 ボックスカルバート相馬5の「③ アンカーの孔内挿入、緊張ジャッキによる緊張、クサビ及びナット等での定着及び頭部処理（頭部背面処理を含む）、グラウド注入、鋼製台座の製作・運搬・撤去及びスクラップ処理」について、設計図面に記載がありません。設計図をご提示ください。</p>	<p>函渠工設計図 40/44 のとおり構造物掘削特殊部B3には「アンカーの孔内挿入、緊張ジャッキによる緊張、くさび及びナット等での定着及び頭部処理（頭部背面処理を含む）、グラウト注入、鋼製台座の製作・運搬・撤去及びスクラップ処理」は含まれていません。</p>
7	<p>大野台希望の橋P1とP5の鋼矢板IV型打設には、割掛対照表参考内訳書の工事用機械運搬費の通り、硬質地盤専用圧入機VL型－重量38.1tで施工することを想定しているかご教示ください。</p>	<p>割掛け対象表参考内訳書の内容に関する質問は受付けておりません。 貴社の施工計画に基づき積算ください。</p>
8	<p>附帯工設計図 51/59 相馬仮置き場A整備工一般図から 58/59 相馬仮置き場D整備工一般図の「土工 切土 土砂」と「土工 盛土」は、数量表のどの項目に計上するのかご教示ください。</p>	<p>特記仕様書 27-3-4、27-3-5、27-3-6に記載のとおりです。</p>
9	<p>福島県相馬市は、積雪地域等に該当するので、積算において、機械損料を補正していただけたると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>機械損料の補正については土木工事積算基準に記載のとおりです。</p>